

トリメック®

液剤

農林水産省登録
第16862号
包装：10L×2

MCPP・MDBA・2,4PA液剤

®米国PBIゴードン社商標



TOYO GREEN



●特長

アメリカPBIゴードン社の永年の研究の結果、3種の成分を独特の比率で配合することにより、高い相乗効果が得られました。その結果非常に効果的、かつ安全に使うことができます。

●適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		使用方法	本剤の使用回数
			薬量	希釈水量		
日本芝	畑地一年生 広葉雑草	雑草生育期	400～800ml	100～150L	雑草茎葉散布	3回以内

散布希釈水量表 (ml/m²)

気温 ℃		倍率	散布希釈水量 ml/m ²			
			100	120	140	160
低温時	20	100	1.00	1.20	1.40	1.60
		150	0.67	0.80	0.93	1.07
通常	25	200	0.50	0.60	0.70	0.80
		250	0.40	0.48	0.56	0.64
高温時		300	0.33	0.40	0.47	0.53

広葉雑草が最も旺盛に生育する春から秋にかけて処理するのが最も効果的です。噴霧器で雑草にムラなくかかるように散布して下さい。標準使用量0.4～0.5ml/m²

●使用上の注意

1. 必ず非イオン系展着剤を加用してください。

2. ノシバ、コウライシバには所定量の範囲で低めの薬量を使用して下さい。（上記表参照）

3. ベントグラス、パーミューダグラスには使用しないで下さい。

4. 夏期高温時および芝生が長期間乾燥している場合は散布を控えて下さい。

5. 散布後24時間以内に散水または降雨がありますと、効果が落ちますのでご注意ください。

6. 張りたての芝生には2～3回刈込み後に使用して下さい。

7. 高温で土壌が乾いているときには、散布後芝の葉先が黄変することがありますが、やがて回復し、その後の生育には影響がありません。

8. 他の有用植物に散布液がかからないよう十分注意して下さい。とくにヒマラヤシダー、ヒノキ、ツツジなど浅根性の樹木の根元には散布しないで下さい。
9. 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意して下さい。初めて使用する場合には、東洋グリーン（株）または特約店の説明に従ってお使い下さい。

＜安全上の注意＞
散布のとき散布液が皮膚に触れたり、飲み込んだり、目に入らないよう注意して下さい。散布時は、長袖作業衣、保護眼鏡、ゴム手袋、マスクを着用して下さい。取扱い後は洗顔・うがい・手洗いを行って下さい。作業時に着用していた衣服等は、他のものと別に洗濯して下さい。

＜保管＞
直射日光を避け、冷涼な場所に密閉して保管して下さい。児童の手が届かない所に保管して下さい。

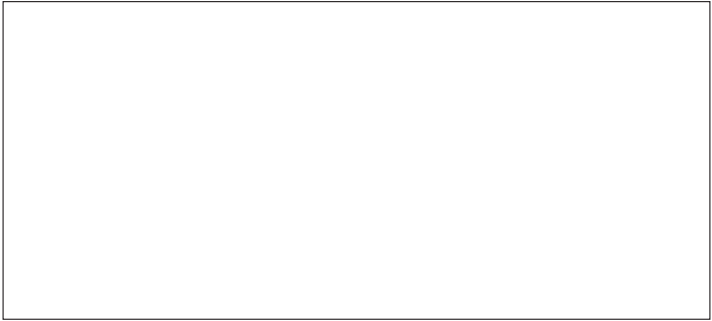
製造・販売元

東洋グリーン株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-33-8
TEL.03-3249-7731 (代表) FAX.03-3249-7781

東京支店 名古屋支店 大阪支店 九州支店
土浦営業所 千葉営業所 沖縄営業所 柏技術センター

<https://www.toyo-green.com>



MCPP・MDBA・2,4PA液剤

トリメックは、アメリカPBIゴードン社が開発した
広葉雑草専用の除草剤です。
単剤では防除の難しいさまざまな広葉雑草も、
トリメックの複数成分の相乗効果により、
容易に除草できるようになりました。

広範囲の広葉雑草に卓効
芝生用除草剤